



2022 年度 CSR 報告書

株式会社関東マツダ
総務部 CSR 推進Gr

OUR CORPORATE PHILOSOPHY — 企業理念 —

関東マツダは、三方良しの経営を実践し人の幸せと社会の発展に貢献します

1. お客様満足(CS) 私たちはクルマを愛するすべてのお客様に、マツダ車を通じて「走る歓び」を提供します。
2. 社員満足(ES) 私たちは社員一人ひとりを尊重し、仕事を通じて豊かな人生を送れる環境を整えます。
3. 社会的責任(CSR) 私たちは地域社会との共存・共栄を目指し、社会貢献活動を推進します。

OUR VISION — ビジョン —

『みんなから愛され社員が誇れる会社』

OUR MISSION — 行動指針 —

信頼獲得	私たちはお客様の良き相談相手になります(お客様)
夢・希望・誇り	私たちは向上心を持ち何事においても正しく行動します(自分)
チームワーク	私たちは互いに感謝し称賛することを忘れません(仲間)
社会貢献	私たちは地域と絆を深め環境に優しい活動をしします(社会)

～ 環境経営の取り組み ～

関東マツダ環境方針

<基本理念>

株式会社関東マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規則を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. お客様に環境対策車への代替提案を促進し、環境負荷の低減を促進します。
4. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを促進します。
5. お客様の車両の点検整備を的確にサポートし、公害防止、省エネルギーを促進します。
6. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
7. 環境に配慮した製品の提供及びグリーン購入を推進します。
8. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
9. 環境に関する社会の要請に積極的に耳を傾け、企業活動に反映させます。
10. 全従業員に個の環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

代表取締役社長 鈎持 豊

◆ エコアクション 21 の取り組み



私たちは環境省が策定した環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」に継続的に取り組みを進めています。

職場内の省資源・省エネルギー・廃棄物削減の取り組み、環境法令の遵守に加え、自動車に携わる私たちが出来る「環境に優しい製品・サービスの提供」を行っていきます。

例えば、低燃費車両・エコ商品の販売、お客様のお車の点検整備を的確にサポート(省燃費の維持、公害防止)を実施していきます。



◆ 関東マツダ掃除道の取り組み



2018 年 1 月より KSD=「関東マツダ(K) 掃除(S) 道(D)」をスタート。

掃除を単なる作業ではなく、「人の心まできれいにする掃除道(そうじどう)」を目指しています。

スタッフ全員で職場内外の清掃を有効かつ計画的に実施することで、清潔が保てるだけでなく、「気づくチカラ」を養い社員の心も磨いていきます。

- ① 社員は勿論のこと、お客様により一層快適にご利用いただくために、お客様視点を持ったスタッフ全員の「目」で職場内外をチェックすることで新しい気づきが生まれます。
- ② 全社員の意識と行動が変わり「6S 活動」が日々当然の様に実施されていき、「安全衛生的な」職場環境を常態化させ、お客様のための「感動空間」を実現させていきます。
- ③ 美観・衛生向上だけでなく、バックヤード等の整理整頓の推進。事務用品を繰り返し有効に使用する「リユース」、工機具などの日々メンテナンスで製品寿命を延ばす「リデュース」活動の推進。



リユース品(クリアファイル)の消毒作業

◆ エコキャップ回収運動の取り組み



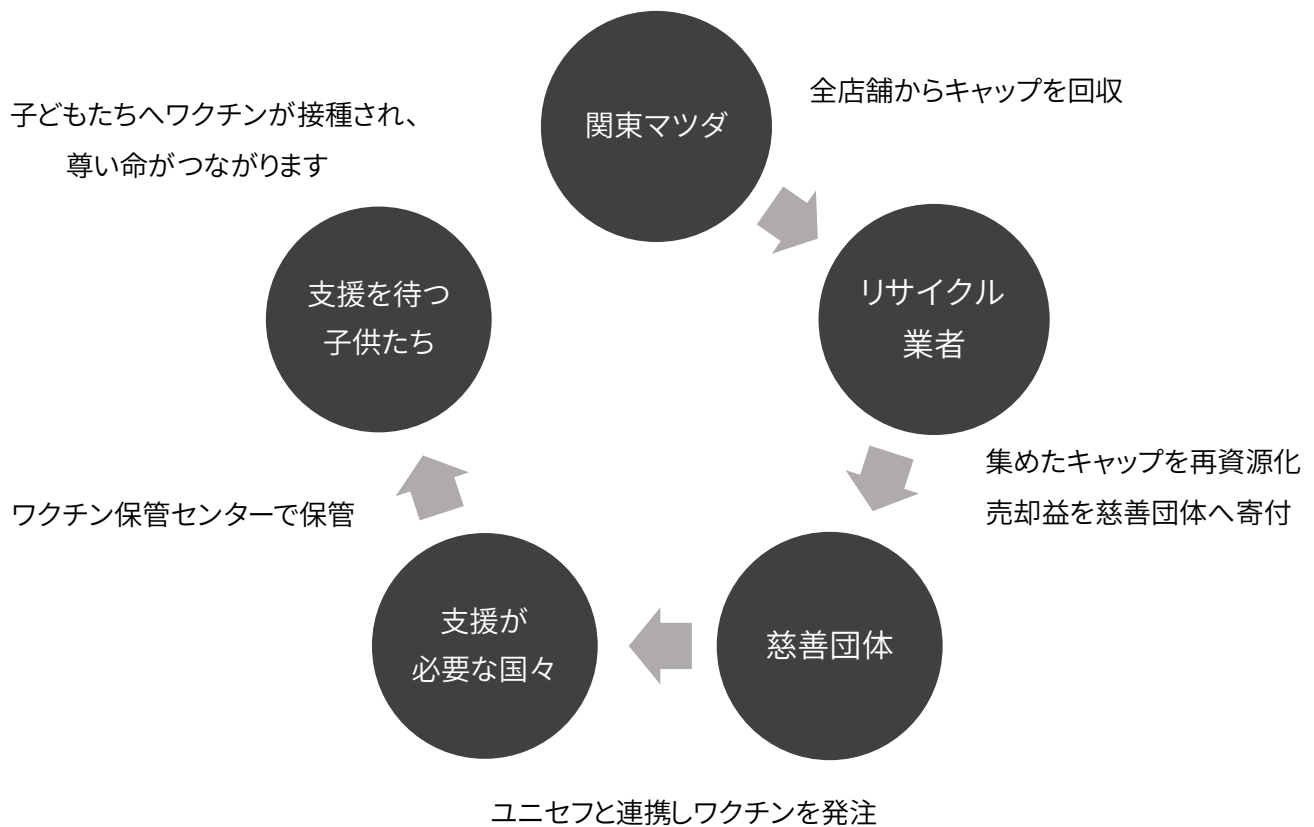
2018 年 10 月から本社・店舗にてエコキャップ回収運動に取り組んでいます。

この運動は個人でも取り組める資源再利用運動でペットボトルキャップを中心に、環境、資源、福祉といったテーマに参加でき、社会貢献も出来る取り組みとして始めました。

日々の活動の中で、社員が正しくゴミを分別しこれまで廃棄していたキャップの回収を始めたことで職場内の整理整頓を見直すことができ、働きやすい環境づくりにもつながりました。

回収されたエコキャップを再利用することで得られた売却益(エコキャップ 500 個で 10 円)は慈善団体を通じてポリオワクチンの購入費用に充て、世界中で使われております。発展途上国に送られる冷凍ポリオワクチンは、1 人分 20 円(2020 年7月以降はエコキャップ 1,000 個)で購入でき、1 人の子どもの命を救うことができます。一方、これまでと同様にゴミとして焼却処分されると、キャップ 430 個で約 3,150 g の CO₂ が発生します。このことから CO₂ の排出を抑えるため、キャップをプラスチック資材の原料として再資源化することは、大きな社会貢献につながっていきます。

エコキャップがワクチンに変わるまで



エコキャップ取組実績

	重量	個数	ワクチン(何人分)	削減した CO2 (Kg)
2020 年度	620kg	288,300 個	310.0 人	1,953.0kg
2021 年度	450kg	215,200 個	215.2 人	1417.5kg
2022 年度	509kg	254,500 個	254.5 人	1603.3kg
これまでの合計	2,106kg	984,610 個	1,053 人	6,634.0kg

※2020 年7月以前は 860 個で一人分のワクチンを購入



◆ 社会貢献型職域限定 EC サイト「CLOSED Mart(クローズドマート)」



2022 年 12 月より食品・商品廃棄ロスに資する取組みとして「CLOSED Mart(クローズドマート)」を導入。様々な理由で一般市場への流通が困難な食品・商品を従業員が購入することにより、無理なく廃棄ロスに貢献できるほか、お得に商品を購入することができるため、福利厚生の充実にも繋がっています。また、売り上げの一部を途上国の子どもや女性を支援している国際 NGO プラン・インターナショナルを通じて寄付しています。



◆ ライトダウンキャンペーンへの参加



毎年 6 月 21 日(夏至)と 7 月 7 日(七夕)に CO₂削減による地球温暖化防止の為に、取り組みを継続していきます

・実施内容：全店舗で屋外看板の消灯

↓ライトダウンキャンペーンサイトのリンク

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolearthday/>

～ 社会貢献活動の取り組み ～

◆ 使いきって(切手)運動

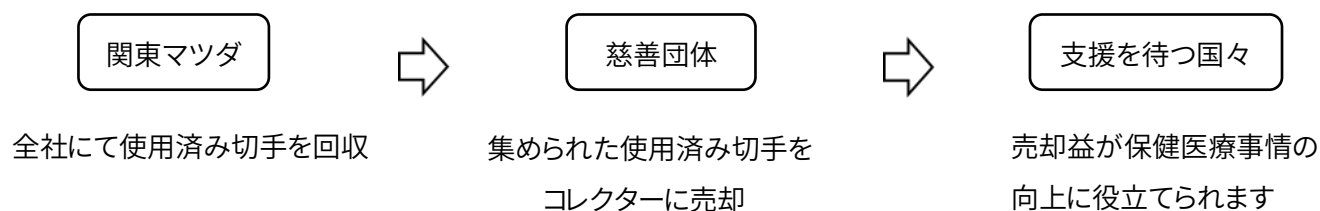


2018 年 10 月より本社・店舗に送られてくる郵便物から使用済み切手を収集し、慈善団体を通じて売却した利益を世界中の医療福祉事業の向上に貢献しています。封筒に貼ってある使用済み切手（切手の額面は問いません）を海外の医療支援に役立てる取組みを実施してアジアやアフリカの保健医療事情向上のために役立てます。

・使用済み切手活用例

- 約 5,000 枚 (1.0 kg)・・・タンザニアで、約 1 年分の看護学校の教科書代
- 約 12,000 枚 (2.4 kg)・・・インドネシアで、1 カ月分の助産師学校の授業料
- 約 20,000 枚 (4.0 kg)・・・ウガンダで、半年分の助産師学校の授業料

・使用済み切手が研修費等になるまで

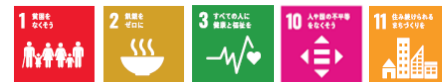


使いきって(切手)運動実績

	枚数	重量(g)
2020 年度	新型コロナウイルスにより回収なし	新型コロナウイルスにより回収なし
2021 年度	新型コロナウイルスにより回収なし	新型コロナウイルスにより回収なし
2022 年度	16,556 枚	5,083g
これまでの合計	22,260 枚	6,217g



◆ 皆さまのご協力による寄付活動



<「お客様の声をお聞かせください」アンケートを通した支援>

マツダ国内販売店では、お車を購入されたお客さま、または整備・点検などを受けられたお客さまに、販売店の対応・サービスに対するご意見・ご要望をお聞きする「お客様の声をお聞かせください」アンケートを実施しています。

このアンケートにお答えいただくと、対象期間中のご回答 1 件につき 50 円をマツダ(株)が日本 NPO センターの「東日本大震災現地 NPO 応援基金」および高齢者・障がいのある方等の移動を支援する「マツダ・移動支援団体応援プログラム」に寄付しています。

マツダ国内販売会社総数

年度	アンケート 回答件数	金額(円)	寄付先	備考
2020 年度	348,264 件	17,413,200 円	社会福祉法人中央共同募金会 (赤い羽根「新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」)	10,000,000 円
			社会福祉法人中央共同募金会 (赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」)	7,413,200 円
2021 年度	399,050 件	19,952,500 円	社会福祉法人中央共同募金会 (赤い羽根「ポスト・コロナ(新型感染症)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」)	10,000,000 円
			社会福祉法人中央共同募金会 (災害ボランティア・NPO 活動サポート募金)	9,952,500 円
2022 年度	集計中	集計中	集計中	集計中

関東マツダ アンケート回答実績

年度	アンケート回答件数	金額(円)
2020 年度	36,204 件	1,810,200 円
2021 年度	48,683 件	2,434,150 円
2022 年度	43,936 件	2,196,800 円

◆ 地域貢献活動 <地域の皆さまと強い繋がりを持つために>



・本社ならびに板橋本店がある板橋区大山町会のお祭りに参加・協賛 (2019 年画像)

お神輿の担ぎ手として参加



お神輿の休憩所を提供



・大山町会七夕まつりに参加・協賛 (2022 年画像)

イベント風景



・大山町会主催子どもイベントに参加・協賛 (2022 年画像)

イベント風景



スーパーボールすくいとして参加



・板橋区 高島平ロードレースに協賛 (2019 年画像)

先導車・ドライバーの提供



小学生ファンランの参加者へ参加賞の提供



・ハッピーロード大山商店街のハロウィンイベントに参加 (2022 年画像)

イベント風景



参加した子供たちにお菓子をプレゼント



※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のイベントが中止になりました。

再開次第、例年通り協賛を続けてまいります。

◆ 調布市の子育て応援サイト「赤ちゃんお出かけ安心マップ」に国領店を登録



お出かけ時、赤ちゃんの授乳・おむつ交換ができる場所として提供



コサイト様リンク

<https://cosite.jp/town/shop/shopothers/kantomazda/chofu/36243>

◆ 東京都、埼玉県、神奈川県、群馬県の「こども 110 番、かけこみ 110 番」に登録

「地域の子ども・高齢者・女性・急病人などお困りの方」が利用できる店舗として登録し、地域に貢献しています。



東京都



神奈川県



埼玉県



群馬県

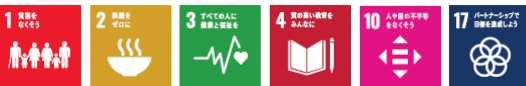


◆ 交通安全運動の実施(交通事故防止の対策強化)

リフレクター(反射材)等をお客様や近隣住民・保育園などに贈答、全国交通安全運動街頭活動に参加して事故のない住み続けられる街づくりを目指します。



◆ 交通遺児等援護 100 円募金への参加(対象:埼玉県内の店舗)



1991 年から交通遺児等(交通事故により死亡又は重い障害を負った保護者に養育されている児童又は生徒)へ経済的な援護を目的とした募金活動への参加

年度	金額
2020 年	88,471 円
2021 年	90,711 円
2022 年	83,514 円

◆ 災害対応型自販機の導入

災害時に被災者へお飲み物を提供できる災害対応型自販機を一部店舗に設置



◆ 東京都・神奈川県・埼玉県の店舗を「災害時帰宅支援ステーション」として登録

2020 年より災害時、帰宅困難者にトイレや休憩場所の提供を行う店舗として登録開始



◆ 6月1日～9月30日、埼玉県内で熱中症対策として「まちのクールオアシス」に参加

埼玉県内の店舗を高齢者や子供連れの方々など、暑さが厳しい日中に外出した際に体温の上昇や水分不足により熱中症にかからないよう施設を一時的な避難場所として提供



◆ 地域清掃活動の実施

きれいな街づくりのため、従業員が各店舗・本社周辺の清掃活動を実施



～ 教育の取り組み ～

◆ ウォーク・アラウンド・コンテスト(接客商談コンテスト)

車両販売における接客・販売スキルの向上のため、社内勉強会、トレーニングを行い、社内大会を実施



◆ サービス技術大会

車両整備における技術と受付対応スキルの向上のため、各事業部から選抜されたスタッフが勉強会、トレーニングを行い、社内大会を実施



◆ 地域の小中学校からの職場体験

自動車に関わる仕事を知ってもらう活動として店舗近隣の小中学校から職場体験の受け入れを実施



◆ 外国人技能実習生の受け入れ

海外マツダ販売のエンジニアスタッフを受け入れ、技術向上のため実地研修を実施



～ 健康経営の取り組み ～

関東マツダ健康宣言

関東マツダに働く社員とその家族の健康の確保は、企業活動の基盤であり、経営の重要課題です。
「社員満足」の企業理念の下、社員一人ひとりを大切に、職場環境を整備すると共にその増進に努め、
お客様からも選ばれ続ける、社員が誇りを持てる会社を目指します。

代表取締役社長 鈿持 豊

健康経営管理指針

目的 働きやすく、全社員が輝き続けられる職場環境を形成する。

体制 代表取締役社長が中心となり、安全衛生委員会、産業医、労働組合や健康保険組合など外部機関とも連携をとりながら健康経営を推進する。推進活動の進捗状況は定期的に経営者会議や部門長会議等で報告・共有する。

取組内容

社員が自律的に健康保持・増進に取り組めるよう、積極的に支援する。

1. 健康診断・ストレスチェックの100%実施。
2. 安全衛生推進者(店長・マネージャー)や健康推進担当者への研修を強化し、健康に対する意識・知識を高める。
3. 職場のコミュニケーションを活性化し、職場環境の改善、メンタル不調者の早期発見・予防に努める。
4. 規程・体制を整備し、より働きやすい職場を目指す。



経済産業省が制度設計を行い、日本健康会議が認定している『健康経営優良法人 2023』の認定を取得

健康経営推進体制相関図

健康経営課題

メンタルヘルス不調等ストレス関連疾患を抱えた社員の早期発見・対応

改善目標

1. 健康推進担当者・管理職向けにセミナーを行い、メンタルヘルスに対する見識を深める。
2. ストレスチェックを活用し、不調者の早期発見を図る。
ストレスチェック受診率 100 パーセントを目指す。

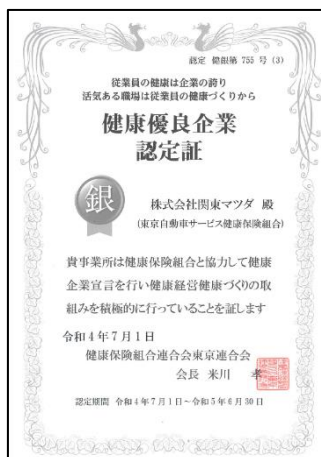
改善施策

1. 半年に 1 度、健康推進担当者や管理職向けに産業医等の専門機関から研修を受ける機会を設け、不調者への対応の仕方や不調者の傾向など予防に関する知識を深める。
2. ストレスチェックを「心の健康診断」として捉え、定期健康診断同様、毎年受けるものとしてその重要性を理解してもらう。また、PC を持たない社員も受診しやすい環境を整える。

定期健康診断実施状況

	対象人数	受診率
2020 年度	2,133 人	98.0%
2021 年度	2,154 人	98.8%
2022 年度	集計中	集計中

健康企業宣言認定書



健康経営優良法人認定書



◆ 新入社員向けのメンタルヘルスセミナーを開催



◆ 社内・店舗に設置している自販機の飲料のカロリーを表示



買う前に・・・カロリーチェックしてますか？

◆「ゼロカロリー」なのにカロリーがあるかも？ 食品表示の豆知識
「カロリーゼロ」「ノンカロリー」と表示できる基準：100ml当たり5kcal未満
栄養成分の内容量が一定基準を下回っていれば、「無」「ゼロ」「ノン」「レス」などと表示できます。
例えば500mlあたりの24.9kcalの飲み物でも「0kcal」と表示出来るのです。
これはスチックスシュガー2本分（1本3g）のカロリーに相当します。

●参考 一般的な飲み物のカロリー表

品名	容量	kcal	品名	容量	kcal
牛乳	100ml	5	コーヒー ブラック	100ml	4
烏龍茶	100ml	9	コーヒー 加糖	100ml	30
紅茶	100ml	1	コーヒー ミルク入り	100ml	20
抹茶	100ml	10	コーヒー インスタント	100ml	295
煎茶	100ml	2	ミルクココア	100ml	412
緑茶	100ml	0	ヨーラ	200ml	92
ほうじ茶	100ml	0	サイダー	200ml	87
玄米茶	100ml	0	ジュース オレンジ	200ml	55
麦茶	100ml	1	ジュース リンゴ	200ml	91
炭酸ジュース	100ml	0	ジュース グレープフルーツ	200ml	77
缶コーヒー	100ml	1	ジュース グレープ	200ml	105
			ジュース パイナップル	200ml	103

8F 自販機カロリー表（アサヒ）

	品名	カテゴリ	カロリー表記（100mlあたり）
上段	ドデカミストロング	炭酸飲料	26kcal
	ロイヤルミルクティー	奶茶	42kcal
	なだ万 日本茶	緑茶	0kcal
	なだ万 ほっじ茶	緑茶	0kcal
	モンスタースター	炭酸飲料	50kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	0kcal
中段	おーいお茶	奶茶	0kcal
	十六茶	ブレンド茶	0kcal
	十六茶 麦茶	麦茶	0kcal
	カルピスウォーター	乳酸菌飲料	45kcal
	WILKINSON LEMON	炭酸水	0kcal
	WILKINSON TANSAN	炭酸水	0kcal
下段	おいしい水	ミネラルウォーター	0kcal
	WONDA X-BETTER BLACK	コーヒー	5kcal
	WONDA アイスマウンテン	コーヒー	22kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	0kcal
	WONDA 極 カフェオレ	コーヒー	24kcal
	世界一のバリスタ監修 炭酸	コーヒー	42kcal
	WONDA 極おいしく炭酸	炭酸飲料	55kcal

◆ 健康増進の為の取り組み



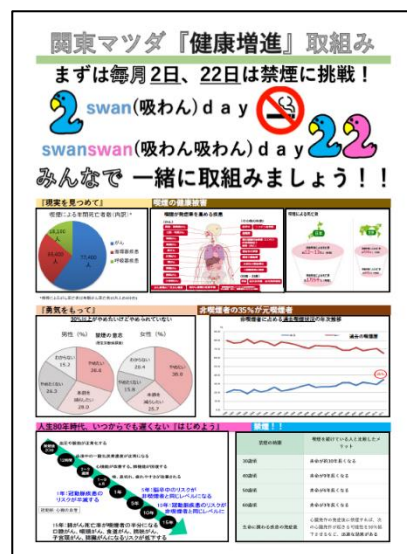
- ・毎月13日を「BMI デー」として、従業員の BMI 適正值(18.5～24.9)に近づくための情報を発信



- ・3か月に一回、体を動かす気持ち良さに気づき、日頃から健康な体づくりを楽しむ習慣ができるきっかけとしてウォーキングイベント「みんなで歩こう!いきいきウォーキング」を開催



- ・毎月2日を「スワンデー」、22日を「スワンスワンデー」として従業員へ禁煙を促進する情報を発信



- ・社員が休憩できるためのリフレッシュルーム



- ・従業員向けに健康ドリンク・のど飴・マスクを販売する「ファイトステーション」を店舗・本社で導入



- ・サービス工場が併設された各店舗に天然水ウォーターサーバーを設置

